※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１９

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	増補新版「現代の国語」　（数研出版）						
副教材等	プレミアムカラー　国語便覧（数研出版） 四訂版　入試頻出漢字＋現代文重要語　TOP2500　（いいずな書店） グランステップ現代文 1.5　（尚文出版） グランステップ現代文２　（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の国語では「言語」・「文化」・「経済」・「生物」・「情報」等の文章を学習します。これらの教材を通して文章の主題を正確に「読む能力」を向上させるとともに、自分の意見や考えを他者に伝え、他者の意見をしっかりと聞き、自分の考えをより発展させるために「話す能力・聞く能力」・「書く能力」を身に着けてください。大学入試や就職では、主題を正確に読み取る力とともに語彙力や作文力が必要となってきます。様々な文章に触れることで、言語感覚を磨き、語彙力を養成してください。授業内外を問わず、知らない漢字や単語等に出会うことがあれば、こまめに辞書を引いて調べることを心がけましょう。定期テストや小テスト、日々の課題にまじめに向き合い、学習計画をしっかり立てて、取り組むようにしてください。

２　学習の到達目標

言葉による物の捉え方及び考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することをめざす。
【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、それらを活用する能力を養う。
【思考、判断、表現等】論理的に考える力や、自らの考えをまとめる力、それを他者に伝える力を伸ばすことで、他者と積極的にかかわり、自分の思いや考えを広げ深めることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、読書を通じて自己を向上させていく資質を養い、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、それらを活用するようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者と積極的にかかわり、やりとりをする中で言語力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて、積極的に他者や社会にかかわったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら効果的に表現し、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、自己を向上させようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	筆者の意見に触れ、自己の考えを持つ [教材]コミュニケーション能力とは何か	a:コミュニケーション能力ついての筆者の主張を読み取る。 b[書]:文中の語句について筆者のとらえ方を整理して表現できる。 c:筆者の意見を踏まえて自分の考えを深め、表現の仕方を工夫して伝えようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 振り返りシート ワークシート
	構成を捉え、筆者の考えを読み取る [教材]水の東西	a:個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート ワークシート
	情報を受け取る主体性について考える [教材]他者を理解するということ	a:筆者が考える「他者」とはなにかを読み取る。 b[読]:自己と他者の関連書籍を読み、自己の在り方について表現できる。 c:自己に対する他者とはどういうものか、意見交換する。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	文章内容を踏まえて自分で問題を提起し、表現を工夫して文章を書く [教材]感情暴走社会の由来	a:文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[書]:読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c:課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、筆者の文章を参考にしながら、適切にまとめようとしている。	ワークシート	レポート課題	ノート 振り返りシート レポート課題
	本文の内容を把握した上で、答えの出ない内容について他者と議論する [教材]命は誰のものなのか	a:終末期医療の自己決定権ついて筆者の考えを読み取ることができる。 b[話／聞]:自己決定権に関する賛否について資料を提示しながら討論することができる。 c:終末期医療に関して自分事として捉え、自分の中の社会についてまとめる。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート レポート課題
	「事実」と「意見」についての定義を理解し、論旨を明確につかむ [教材]事実なのか考えなのか	a:筆者の述べる「事実」と「意見」の違いについて理解している。 b[読]:本文中に例示されている事柄を通して、文章の内容や要旨を的確にとらえることができる。 c:本文の内容を踏まえ、「事実」と「意見」を使い分けようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
後期	主題に至る本文の構成を把握し、主張を正確に捉える ［教材］絵を前に思いをめぐらす	a：絵の鑑賞を通じて、日々の生活における感性について捉える。 b［ 読 ］：参考「芸術の価値とは」を読み、鑑賞を通じて自己を見直すことができる。 c：自らの考えを整理し積極的に発言できる。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる ［教材］時間と自由の関係について	a：実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	内容を正確に読み取り、「消費社会」に対する認識を改める。 ［教材］浪費を妨げる社会	a：「浪費」と「消費」の対比関係を意識しながら、正確に言葉の定義を把握し、現代の消費社会について考える。 b［ 話/聞 ］：「消費」と「浪費」について考えたときに「贅沢」とはどのようなことをさすのかを自分の考えをノートにまとめ、わかりやすく発表できる。 c：表現を工夫しながらわかりやすく伝えることができる。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	日常生活の中から芸術について考える態度を養う ［教材］白	a：「白」という言葉から筆者の論が様々に展開されていることを読み取る。 b［ 読 ］：文章の構成を把握し、論理的に筆者の主張・要旨の理解を深めようとしている。 c：筆者の意見・考えを粘り強く読み解こうとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	文章中の抽象的な表現について説明する ［教材］会話という現象	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b［ 話/聞 ］：実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考察し、適切に説明しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査 レポート課題	ノート 振り返りシート レポート課題
	筆者の主張を、本文全体を踏まえて具体的に説明する ［教材］一人の中にある無限	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間